

北九州空港滑走路延長計画に関する

PI 実施記録

(案)

令和3年 月

北九州空港施設計画検討協議会

はじめに（仮）

北九州空港については、大型貨物機の長距離運航を可能とするため、現行の滑走路長 2,500m を 3,000m に整備延長する要請が関係する自治体等からなされています。このため、国は令和 2 年度より、この滑走路延長を検討する調査の実施を決定しました。

この経緯を踏まえ、関係地方公共団体（福岡県、北九州市、苅田町）と、九州地方整備局および大阪航空局は、連携・協力して、「北九州空港滑走路延長」にともなう施設計画段階のパブリック・インボルブメント（略名：P I）を実施することとしました。

P I は、施設計画段階における情報を広く公開し、みなさまのご意見を頂きながら実施していくものであり、空港整備事業の透明性や客観性の確保とともに、みなさまとの円滑な合意形成を図ることを目的としています。そのため、学識経験者や有識者らによる第三者委員会を設置し、客観的かつ専門的な立場からの助言に基づいて進めました。

本書は、「北九州空港施設計画検討協議会」が実施した、施設計画段階 P I の実施状況（周知・広報と意見収集）を実施記録として取りまとめたものです。

今後、この P I 活動の結果も踏まえて、当該事業を実施するか否かを判断してまいります。

P I 活動に参加して下さった P I 対象者のみなさま、P I 活動を支えて下さった関係者のみなさまに感謝申し上げます。

令和 3 年 ●月 北九州空港施設計画検討協議会

目 次

はじめに（仮）	
1. P I 活動の実施状況.....	1
1.1. 周知・広報活動	1
1.2. 情報提供	5
1.3. P I 評価委員会	9
2. P I 活動の実施結果.....	11
2.1. P I 活動の結果	11
2.2. 情報提供内容（P I レポート）の入手先	15
2.3. 提供した情報（P I レポート）についての理解度.....	16
2.4. 寄せられた自由意見	23
3. P I の目標達成の判断	30
3.1. 判断の方法	30
3.2. 判断内容（案）	31
3.3. P I の目標達成の判断結果	36

1. P I 活動の実施状況

北九州空港の滑走路延長を目指し、手続きの透明性の確保や幅広い合意形成を図るため、パブリック・インボルブメント（以下、「P I」という）を実施しました。

北九州空港P Iでは、令和3年7月1日から事前の周知・広報活動を開始し、令和3年7月15日から8月16日までの約1か月にわたり、滑走路延長計画の内容を記した「北九州空港滑走路延長計画について（P Iレポート）」の公表による情報の提供と計画に対する意見を募集する活動（以下、「P I活動」という）を実施しました。

1.1. 周知・広報活動

北九州空港のP Iにおける「周知・広報活動」は、令和3年7月1日から、北九州市及び苅田町を始めとした福岡県内を中心に、北九州空港滑走路延長計画（案）に関する意見募集についての周知（PR活動）を行いました。

具体的に行った「周知・広報活動」を、以下に記します。

表 1-1 周知・広報活動実績（その1）

手法・媒体	実施場所	実施日	配布数
ホームページ	福岡県ホームページ	7/1	—
	北九州市ホームページ	7/1	—
	苅田町ホームページ	7/5	—
	大阪航空局ホームページ	7/1	—
	九州地方整備局ホームページ	7/1	—
SNS ・ Facebook ・ LINE ・ Twitter 等	福岡県 LINE(公式アカウント) Twitter(公式アカウント)	7/15	—
	北九州市 Facebook(好きっちゃ北九州) LINE(公式アカウント) Twitter(好きっちゃ北九州)	7/15	—
		7/15	—
		7/16	—
	苅田町 Facebook(公式アカウント) LINE(公式アカウント)	7/15	—
		7/15	—
北九州空港 Facebook(公式アカウント) LINE(公式アカウント)	7/30	—	
	7/21	—	
九州地方整備局 Facebook(公式アカウント) Twitter(公式アカウント)	7/16	—	
	7/16	—	

表 1-2 周知・広報活動実績（その2）

手法・媒体	実施場所	配布開始日 又は実施日	配布数
広報紙	福岡県「福岡県だより」(Vol.144)	7月号	約260.0万部
	北九州市「市政だより」(No.1390)	7月15日号	約32.4万部
	苅田町「広報かんだ」(No.1495)	7月10日号	約1.2万部
	北九州市「市政だより」(No.1391)	8月1日号	32.4万部
	北九州空港広報誌「とべとべ北Q」(Vol.46)	7月号	—
PRポスター	福岡県庁、県民情報センター、県民情報コーナー、県外事務所（計22箇所）	7/1	28枚
	北九州市役所、区役所、出張所、市民センター、図書館、生涯学習総合センター（計163箇所）		326枚
	苅田町役場、図書館、公民館、コミュニティセンター（計6箇所）		9枚
	コンビニ等	7/1	1,125枚
	北九州空港	7/1	10枚
	福岡空港※	7/1	1枚
	北九州モノレール駅※	8/1	11枚
	苅田町ワクチン接種会場※	7/17	2枚
	PRポスターの合計掲示枚数		
PRチラシ	福岡県庁、県民情報センター、県民情報コーナー、県外事務所（計22箇所）	7/1	877枚
	コンビニ		11,000枚
	北九州市役所、区役所、出張所、市民センター、図書館、生涯学習総合センター（計163箇所）		3,400枚
	苅田町の公共施設		1,300枚
	九州地方整備局		280枚
	北九州空港	6/23	100枚
	福岡空港※	6/28	100枚
	九州・山口各県庁、福岡県内全市町村、山口県下関市、大分県中津市（68自治体）※	6/28	2,110枚
	経済団体（92団体）※	6/28	979枚
	企業（66社）※	7/12	166枚
	航空会社（15社）※		15枚
	PRチラシの合計配布枚数		
マスメディア （福岡県）	テレビ：FBS福岡放送 「優&舞の知っつく！ふくおか」	7/3	—
	新聞：特別広報（読売新聞）	7/15（朝刊） 7/21（夕刊） 7/28（夕刊）	—
	ラジオ：FM福岡「モーニングジャム」	7/15、8/12	—

※PI実施計画書における計画内容に追加して実施

<ホームページ>

北九州市



福岡県



九州地方整備局



<SNS>

九州地方整備局の Twitter

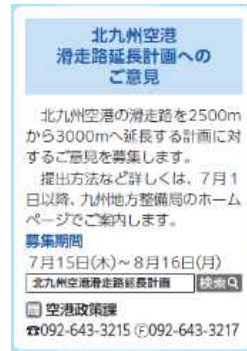


<広報誌>

北九州空港振興協議会「とべとべ北Q」



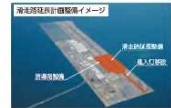
福岡県「福岡県だより」



北九州市「市政だより」

北九州空港滑走路延長計画への意見を募集

北九州空港の滑走路を2500メートルから3000メートルへ延長する計画に対する意見を募集します。募集期間中、各区分所や市民センターなどに計画の内容を説明した冊子を設置します。▶募集期間=7月15日(木)～8月16日(月) ▶提出方法=冊子に同封の封筒がきや九州地方整備局ホームページからなど、説明会は、7月18日(日)13時30分～14時30分、商工貿易会館(小倉北区古船町)で、詳細は要を、国港湾空港局空港企画課 ☎582・2208へ。



荏田町：広報かんだ パネル展の案内

北九州空港滑走路延長計画
北九州空港の滑走路を2500メートルから3000メートルへ延長する計画について、みなさまの意見を募集します。7月15日(木)～8月16日(月)の期間、本町の各区分所や市民センターなどに、説明会資料の冊子を設置します。冊子には、説明会の日程や、意見の提出方法が記載されています。また、冊子には、北九州空港の滑走路延長計画の概要や、北九州空港の歴史などが記載されています。詳しくは、本町のホームページをご覧ください。

<ポスター>



図 1-1 周知・広報活動の例 1

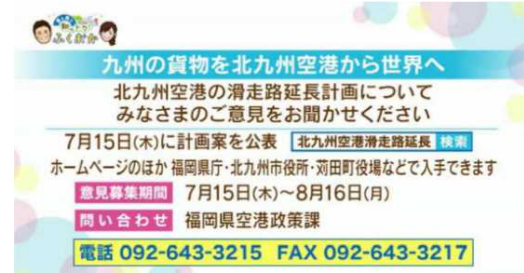
<チラシ>

県内各所に配架・配布



<マスメディア>

福岡県の広報番組



<マスメディア> (福岡県)

読売新聞

朝刊



夕刊



<PR ポスターの掲示とチラシの配架>

福岡県庁 (1F ロビー)



北九州市役所 (市民ホール)



図 1-2 周知・広報活動の例 2

1.2. 情報提供

1.2.1. 情報提供の手法・内容

北九州空港滑走路延長計画に関するPI活動では、計画案の公表等の情報提供を行いながら、約1ヵ月間の期間において、PI対象者のみなさまからのご意見を頂きました。

この情報提供と意見の把握については、以下の手法・媒体を活用して実施しました。

配布に際しては、広く情報を周知するため、事前に作成したPI実施計画に基づいた配布先に加え、周辺自治体や各種団体・会社等へも積極的に追加配布を実施しました。

表 1-3 情報提供の実施内容

手法・媒体	実施場所	掲載開始日 又は掲載期間	配布数・開催 個所・参加者数
ホームページ	福岡県ホームページ	7/15	—
	北九州市ホームページ	7/15	—
	苅田町ホームページ	7/15	—
	北九州空港ホームページ	7/15	—
	大阪航空局ホームページ	7/15	—
	九州地方整備局ホームページ	7/15	—
冊子 (PIレポート) の配布	福岡県庁、県民情報センター、県民情報コーナー、 総合庁舎、県外事務所（計22箇所）	7/15～8/16	1,140部
	北九州市役所、区役所、出張所、市民センター、 図書館、生涯学習総合センター（計163箇所）		4,098部
	苅田町役場、図書館、公民館（計6箇所）		1038部
	国土交通省（九州地方整備局、その他）		65部
	説明会（北九州会場）		25部
	説明会（苅田会場）		32部
	コンビニ等		6,150部
	北九州空港		250部
	福岡空港※		100部
	九州・山口各県庁、福岡県内全市町村、山口県下 関市、大分県中津市（68自治体）※		2,250部
	経済団体（54団体）※		1,733部
	企業（65社）※		84部
	航空会社（15社）※		15部
	苅田町ワクチン接種会場※		330部
冊子の合計配布部数	17,310部		
パネル展	福岡市内：福岡県庁・福岡第二合同庁舎	7/15～8/16	2箇所
	北九州市内：北九州空港、市役所、生涯学習総合 センター、八幡西生涯学習総合センター	7/15～8/16	4箇所
	苅田町内：町役場、町立図書館、公民館	7/15～8/16	6箇所
説明会	北九州会場：北九州市立商工貿易会館 北九州市小倉北区古船場町1-35	7/18(日)	参加 19名
	苅田会場：三原文化会館 苅田町富久町1-19-1	7/17(土)	参加 32名

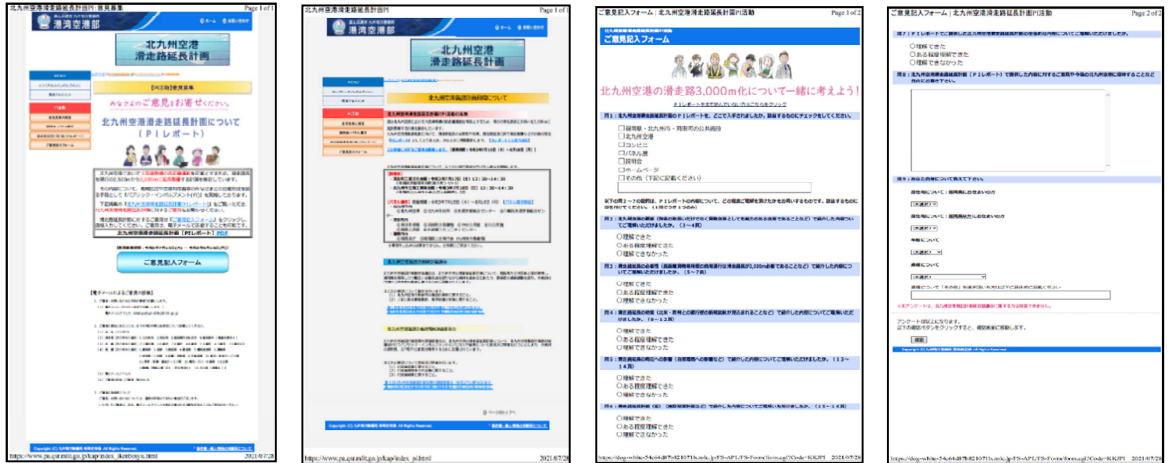
<ホームページ>



<ホームページ>

九州地方整備局のホームページのご意見記入フォーム

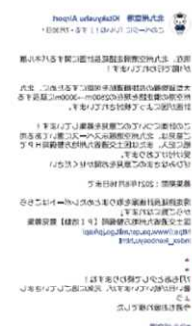
福岡県・北九州市・苅田町・北九州空港、大阪航空局のホームページから、北九州地方整備局のホームページのご意見記入フォームに繋がります。



国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 (P I 活動意見募集)

<SNS>

北九州空港 Facebook



福岡県 Twitter



図 1-3 情報提供の例 1

<冊子(P Iレポート)>

「北九州空港滑走路延長計画について」(全 22 ページ)



<冊子(P Iレポート)の配布>

九州地方整備局

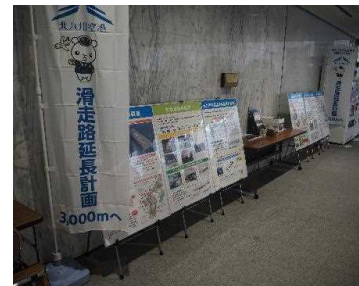


<パネル展>

北九州空港



九州地方整備局



<地元説明会：北九州市>

YouTube にてライブ配信されました 九州朝日放送で放映された「住民説明会」の様子



<地元説明会：苅田町>



<のぼり>



図 1-4 情報提供の例 2

1.2.2. 地元説明会

P I 活動における情報提供手段のひとつとして、地元である苅田町・北九州市を対象とした地元説明会を開催し、九州地方整備局よりP I レポートの内容に沿って説明をしました。以下に、説明会の概要、質疑応答で寄せられた主な意見について紹介します。

地元説明会の開催状況

【1日目】

日 時：令和3年7月17日（土）13:30~14:40

場 所：苅田町三原文化会館

参加者：32名 報道機関：1社

主な意見：

- ・ 滑走路延長により、航空機騒音が増えるのではないかと。
- ・ 滑走路は3,000mではなく4,000mにしないのか。また、将来的に更なる延長を計画しているのか。
- ・ 延長した滑走路はいつから供用が開始されるのか。
- ・ 空港建設当時における築城基地との協議の結果、北九州空港の管制は築城基地で行われているが、今後も北九州空港に航空管制を置くことはないのか。
- ・ 滑走路延長後において長距離旅客便の就航見込みはあるのか。
- ・ 3,000m化後のスターフライヤーの事業計画なども踏まえて、北部九州の活性化に繋がってほしい。（要望）
- ・ 航空機騒音の影響に関する詳細な調査結果はいつ出るのか。

【2日目】

日 時：令和3年7月18日（日）13:30~14:20

場 所：北九州市立商工貿易会館（説明会の状況をYouTubeでライブ配信）

参加者：19名 報道機関：6社



PortofKitakyushu【港湾空港局 YouTube チャンネル】

主な意見：

- ・ 滑走路延長により、北九州空港の発着回数ほどの程度変わるのか。
- ・ 航空機のオーバーホール拠点を北九州空港に誘致できないのか。
- ・ 航空会社は滑走路長3,000mで納得しているのか。ボルガ・ドニエプル社等の航空機は3,000m以上の滑走路長が必要なのではないかと。
- ・ 延長滑走路の整備期間を短縮できないのか。

1.3. P I 評価委員会

北九州空港施設計画検討協議会やみなさまに対して中立的な立場である、「北九州空港施設計画段階 P I 評価委員会」が開催され、P I 活動に関する評価・助言を頂きました。以下に、P I 評価委員会の開催状況を示します。

評価委員会で頂いた評価・助言の概要

- ・ 第 1 回 P I 評価委員会では、P I 実施計画書の策定に向けて、評価・助言を頂きました。
- ・ 第 2 回 P I 評価委員会では、P I 対象者への情報提供内容「P I レポート」やご意見の提出方法など、具体の P I 活動について、評価・助言を頂きました。
- ・ 第 3 回 P I 評価委員会では、P I 実施記録（案）について、評価・助言を頂くとともに、P I 活動全体を通じた評価を頂きました。

北九州空港施設計画段階 P I 評価委員会の開催状況

■第 1 回 令和 2 年 10 月 9 日（金）13:30~14:50 開催

議 事：P I 評価委員長と委員長の職務代理者の選出

- ・ 北九州空港滑走路延長計画に関する P I 実施計画書（案）について
（パブリック・インボルブメントの進め方、内容などについて）

主な発言：

- ・ P I の目標達成の判断をするために、協議会が伝えた情報を P I 対象者が理解できたかどうか把握できるような工夫をしたほうがよい。
- ・ P I という言葉やパブリック・インボルブメントという言葉は、一般の方には馴染みがないので、多くの方から意見を頂くためには、わかりやすい言葉で丁寧に説明したほうがよい。
- ・ 航空貨物のことを全面に押し出すよりは、北九州空港の将来像や、滑走路を延長することが地域の発展につながることを示した方が、一般の方の興味がわくのではないかと。
- ・ P I レポートでは、滑走路延長することによる効果のほか、滑走路延長によるネガティブな要素も記載した方が、相手に信用されると思う。
- ・ P I の基本方針において、方針 1 の「わかりやすい情報提供」と方針 2 の「情報に入手のしやすさ」は似ているので、「情報入手のしやすさ」と「意見のしやすさ」に分けた方がよいのではないかと。また、方針 4 の「適切な期間」と「目標期間」の違いなど、言葉の使い方を整理したほうがよい。

■第2回 令和3年5月28日(金) 13:30~15:30 開催

議 事：P Iの進め方について

P I実施計画書について

P Iレポートについて

P I活動の実施場所について

主な発言：

- ・ ご意見記入用紙について、問2~問5までがP Iレポートで情報提供した項目ごとに理解度を聞く設問であり、問6は滑走路延長計画全体について理解度を聞く設問であることがわかるように説明文を補足した方がよい。
- ・ 滑走路延長計画の妥当性というタイトルで、滑走路延長による周辺への影響がないことを説明する内容が書かれているが、これは滑走路の延長の効果と影響というタイトルに変更した方がわかりやすいのではないか。
- ・ 北九州空港の滑走路延長に係る様々な経緯や分析結果など事務局として伝えたい内容と、滑走路が延長されることにより何がどのように変わるのかといった住民側が知りたい内容との間にギャップがあるのではないか。
- ・ 情報の入手先としてホームページを見て頂きたいのであれば、ホームページのURLを記載したり、キーワード検索の文言を示したり、利用者目線にたった工夫をするとよい。
- ・ 滑走路延長整備計画が今後どのような手続きで進められていくのか、いつから工事に入っ、いつ完成するのかといったことがイメージできるような工程表があるとよい。
- ・ 滑走路延長の効果として貨物専用便のことが大きく書かれているが、多くの方に読んでいただくためには、旅客便のこともあわせて記載したほうがよい。

■第3回 令和3年10月18日(月) 14:00~ 開催(予定)

議 事：

主な発言：

2. P I 活動の実施結果

2.1. P I 活動の結果

PI 活動において実施した意見募集の質問項目に沿って、回答内容を整理しました。

2.1.1. 回答数と回答方法

意見募集期間中（7/15～8/16）にホームページやハガキで寄せられた意見は、合計 958 件ありました。ホームページによるものが 514 件（53.7%）と全体の半分以上を占め、次いでハガキが 264 件（27.6%）、ご意見記入用紙が 173 件（18.1%）であり、この 3 つの手段で約 99% を占めました。

表 2-1 回答方法

手段	回収場所・方法	回答数	比率
ホームページ	北九州空港 P I ホームページ（九州地整）	514 件	53.7%
ハガキ	P I レポートに関する意見募集事務局	264 件	27.6%
ご意見記入用紙	（福岡県、北九州市、苅田町、九州地整）	173 件	18.0%
Eメール	北九州市、九州地方整備局	4 件	0.4%
郵送※	北九州市、意見募集事務局	3 件	0.3%
合計		958 件	100.0%

※：郵送は、封書により意見が寄せられた件数

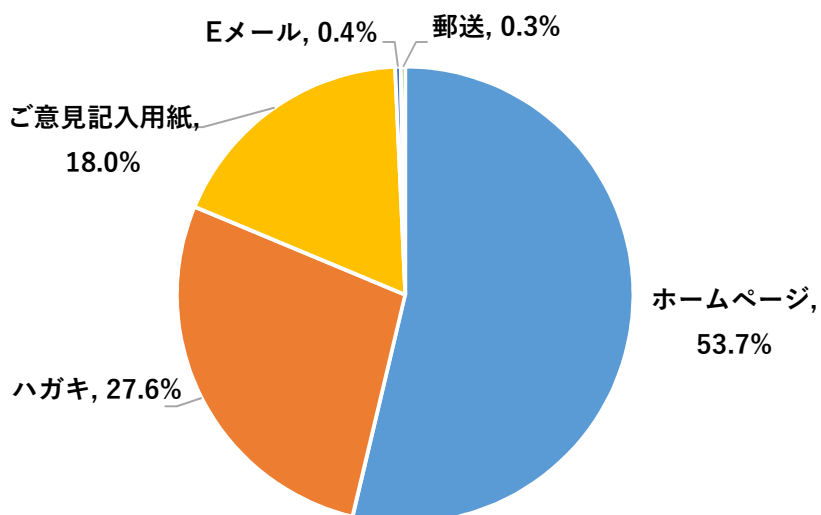


図 2-1 回答方法の比率

(N=958)

2.1.2. 属性

(1) 居住地

回答者の居住地は、北九州市が最も多く 562 件 (61.1%)、北九州市と苅田町の住民の合計は、645 件 (70.1%) でした。また、北九州市や苅田町を含んだ福岡県内の住民の合計は全体の 9 割弱を占めています。

福岡県以外の回答の中では、山口県が 51 件で最も多く、次いで東京都の 17 件、それ以外は全て一桁の回答数でした。

表 2-2 回答者の居住地

居住地	回答数	比率
北九州市	562 件	61.1%
苅田町	83 件	9.0%
北九州市・苅田町以外の福岡県内	164 件	17.8%
福岡県以外 (山口県、東京都等)	111 件	12.1%
有効回答	920 件	100.0%
無回答	38 件	—
合計	958 件	—

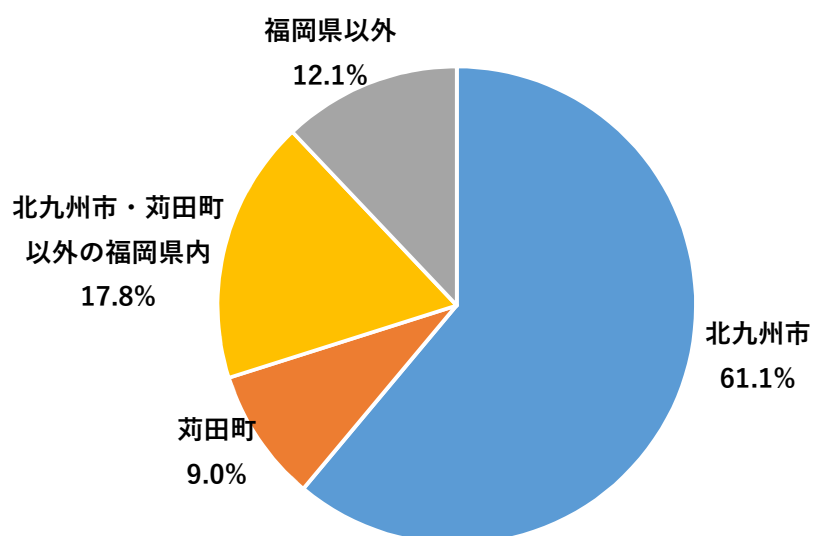


図 2-2 回答者の居住地の比率

(N=920)

(2) 年齢

回答者の年齢は、「50歳代（27.7%）」が最も多く、次いで「40歳代（21.8%）」、「60歳代（19.8%）」となりました。

回答者の年齢の上位を示す「40歳から59歳」の合計比率は、全体の約半分（49.6%）を占めました。

表 2-3 年齢別構成

年齢	回答数	比率
20歳未満	24件	2.6%
20歳代	75件	8.1%
30歳代	100件	10.8%
40歳代	202件	21.8%
50歳代	256件	27.7%
60歳代	183件	19.8%
70歳以上	85件	9.2%
有効回答	925件	100.0%
無回答	33件	—
合計	958件	—

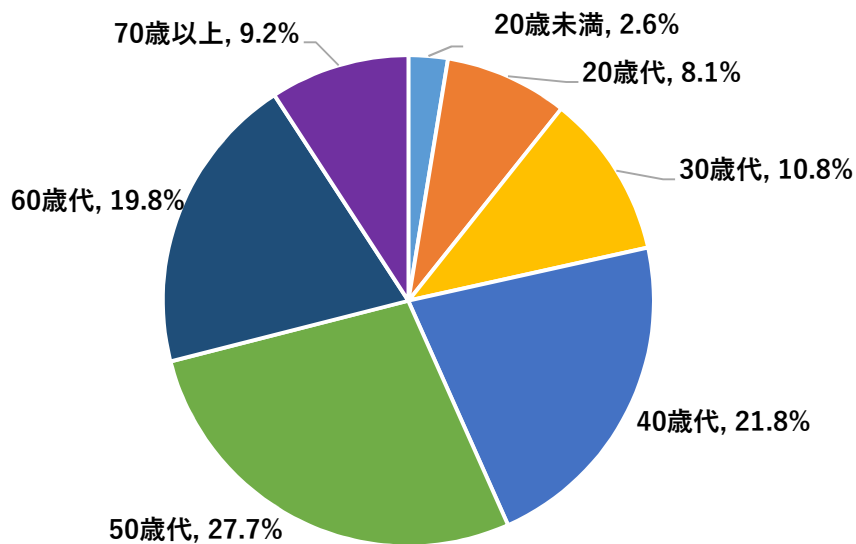


図 2-3 年齢別構成

(N = 925)

(3) 業種

回答者の業種で最も多かったのは、「公務 (16.4%)」、次いで「製造業 (14.3%)」、「無職(専業主婦 (夫)、学生等を含む) (12.6%)」でした。

表 2-4 回答者数と業種

職種	回答数	比率
農林業	9 件	1.0%
漁業	2 件	0.2%
建設業	58 件	6.4%
製造業	129 件	14.3%
情報通信業	58 件	6.4%
運輸業	57 件	6.3%
卸売業・小売業	54 件	6.0%
金融・保険業	33 件	3.7%
不動産業	57 件	6.3%
宿泊・飲食サービス業	16 件	1.8%
教育・医療・福祉サービス業	78 件	8.6%
電気・ガス・水道業	26 件	2.9%
公務	148 件	16.4%
無職 (専業主婦 (夫)、学生等含む)	114 件	12.6%
その他	65 件	7.2%
有効回答	904 件	100.0%
複数回答者	10 件	—
無回答	44 件	—
合計	958 件	—

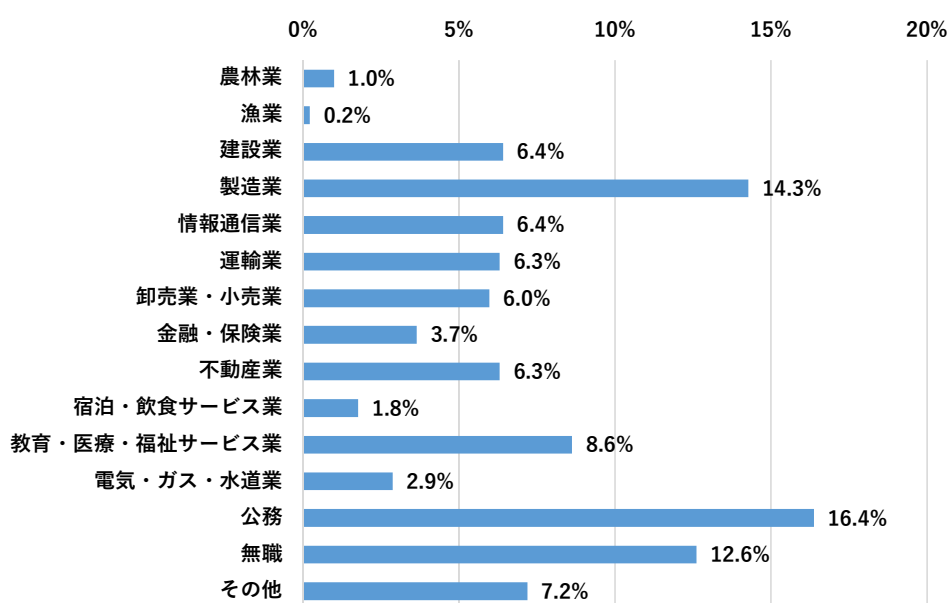


図 2-4 業種と回答者の比率

(N=904)

2.2. 情報提供内容（P Iレポート）の入手先

レポートの入手先は、「福岡県・北九州市・苅田町の公共施設（31%）」が最も多く、次いで「ホームページ（20.4%）」が続いています。

選択肢「その他」の中の回答には、「とべとべ北 Q（北九州空港振興協議会）」、「北九州商工会議所」、「他の行政（市・町）」、「職場」、「Facebook」、「LINE」等がありました。

表 2-5 P Iレポートの入手先

選択肢	回答数	比率
福岡県・北九州市・苅田町の公共施設	303 件	31.0%
北九州空港	83 件	8.5%
コンビニ	19 件	1.9%
パネル展	12 件	1.2%
説明会	38 件	3.9%
ホームページ	199 件	20.4%
その他	322 件	33.0%
合計	976 件	100.0%

注) この設問は複数回答を認めているため、複数回答者 24 名の回答数 52 個が含まれます。

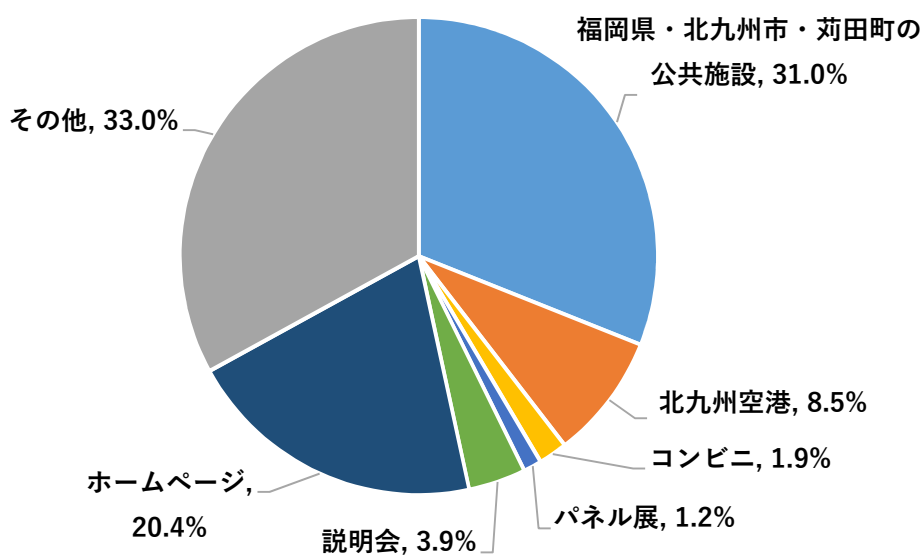


図 2-5 P Iレポートの入手先

(N=976)

2.3. 提供した情報（P Iレポート）についての理解度

2.3.1. 北九州空港の概要

問：北九州空港の概要（旅客の取扱いだけでなく貨物空港としても魅力のある空港であることなど）で紹介した内容についてご理解いただけましたか（P Iレポート3～4項）

北九州空港の概要の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、99.4%を占めました。

表 2-6 北九州空港の概要の理解度

	回答数	比率
理解できた	753 件	79.5%
ある程度理解できた	189 件	19.9%
理解できなかった	6 件	0.6%
有効回答	948 件	100.0%
無回答	10 件	—
合計	958 件	—

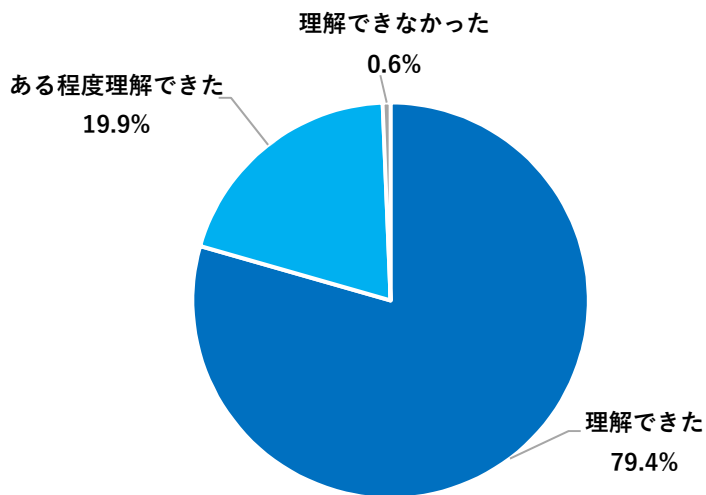


図 2-6 北九州空港の概要の理解度

(N=948)

2.3.2. 滑走路延長の必要性

問：滑走路延長の必要性（長距離貨物専用便の商用運航には滑走路長が 3,000m 必要であることなど）で紹介した内容についてご理解いただけましたか（P I レポート 5～7 項）

北九州空港の滑走路延長の必要性の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、98.6%を占めました。

表 2-7 滑走路延長の必要性の理解度

	回答数	比率
理解できた	786 件	82.7%
ある程度理解できた	151 件	15.9%
理解できなかった	13 件	1.4%
有効回答	950 件	100.0%
無回答	8 件	—
合計	958 件	—

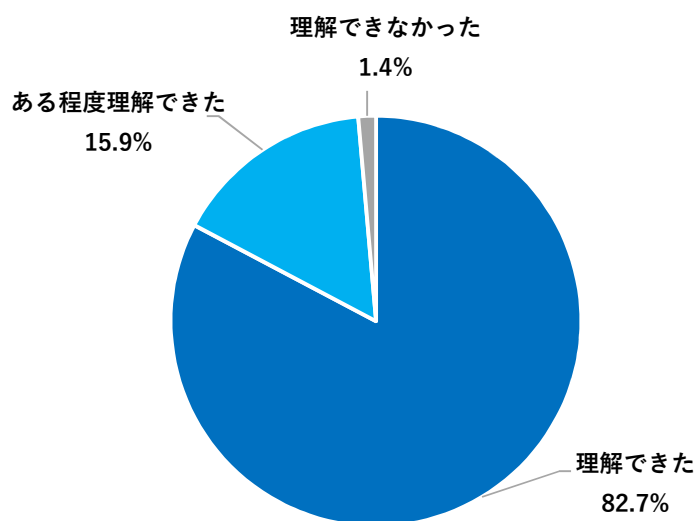


図 2-7 滑走路延長の必要性の理解度

(N=950)

2.3.3. 滑走路延長の効果

問：滑走路延長の効果（北米・欧州との直行便の新規就航が見込まれることなど）で紹介した内容についてご理解いただけましたか（P I レポート 8～12 項）

北九州空港の滑走路延長の効果の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、97.9%を占めました。

表 2-8 滑走路延長の効果の理解度

	回答数	比率
理解できた	746 件	78.6%
ある程度理解できた	183 件	19.3%
理解できなかった	20 件	2.1%
有効回答	949 件	100.0%
無回答	9 件	—
合計	958 件	—

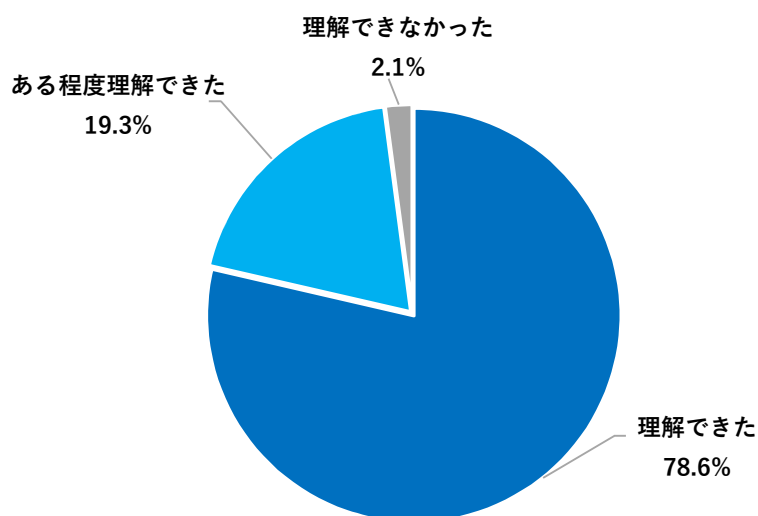


図 2-8 滑走路延長の効果の理解度

(N = 949)

2.3.4. 滑走路延長の周辺環境への影響

問：滑走路延長の周辺への影響（自然環境への影響など）で紹介した内容についてご理解いただけましたか（P I レポート 13～14 項）

北九州空港の滑走路延長の周辺環境への影響の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、98.2%を占めました。

表 2-9 滑走路延長の周辺環境への影響の理解度

	回答数	比率
理解できた	705 件	74.4%
ある程度理解できた	225 件	23.8%
理解できなかった	17 件	1.8%
有効回答	947 件	100.0%
無回答	11 件	—
合計	958 件	—

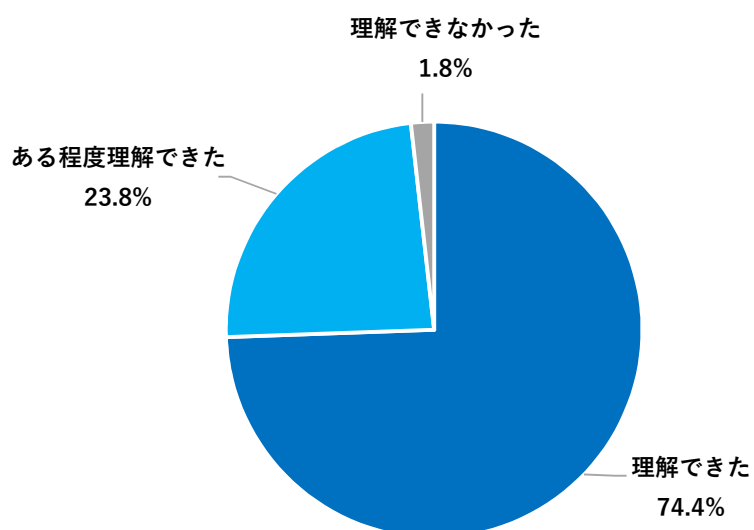


図 2-9 滑走路延長の周辺環境への影響の理解度

(N=947)

2.3.5. 滑走路延長計画案の内容

問：滑走路延長の必要性（施設配置計画など）で紹介した内容についてご理解いただけましたか（P I レポート 15～16 項）

北九州空港の滑走路延長計画案の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、98.6%を占めました。

表 2-10 滑走路延長計画案の内容の理解度

	回答件数	比率
理解できた	736 件	77.6%
ある程度理解できた	199 件	21.0%
理解できなかった	13 件	1.4%
有効回答	948 件	100.0%
無回答	10 件	—
合計	958 件	—

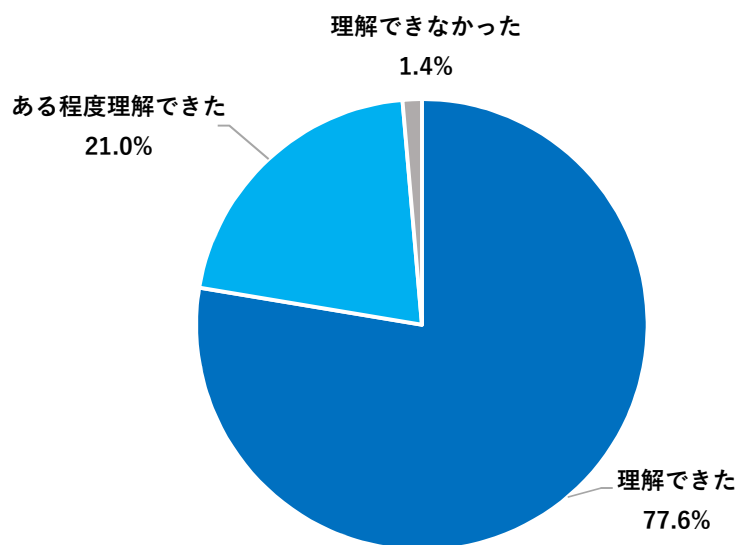


図 2-10 滑走路延長計画案の内容の理解度

(N=948)

2.3.6. 情報提供内容（P Iレポート）全般的な内容

問：本冊子でご提供した北九州空港の滑走路延長計画の全体的な内容についてご理解いただきましたか

北九州空港の情報提供内容（P Iレポート）の理解度について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した方は、98.4%を占めました。

表 2-11 全体的な内容の理解度

	回答数	比率
理解できた	726 件	77.4%
ある程度理解できた	197 件	21.0%
理解できなかった	15 件	1.6%
有効回答	938 件	100.0%
無回答	20 件	—
合計	958 件	—

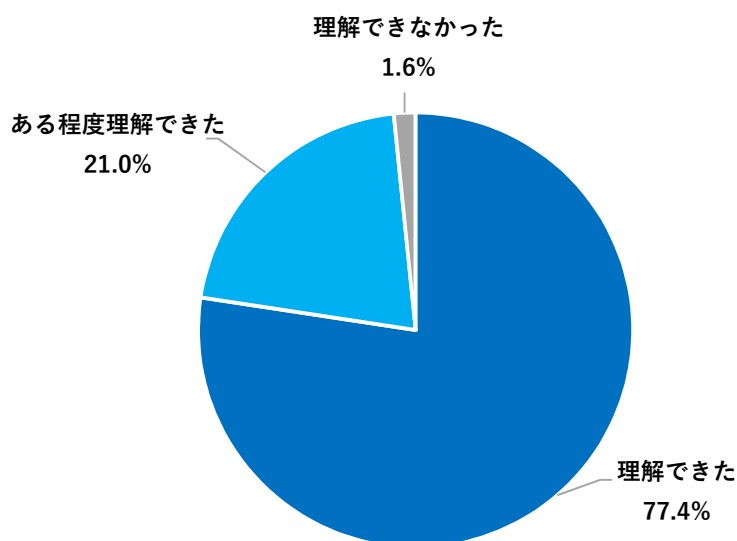


図 2-11 全体的な内容の理解度

(N=938)

2.3.7. 理解度のまとめ

前項までで取りまとめた、北九州空港施設計画における理解度を以下に整理しました。

表 2-12 空港施設計画における理解度とその回答数

	空港の概要	滑走路延長の必要性	滑走路延長の効果	周辺への影響	延長計画(案)の内容	全体的な内容
理解できた	753 件	786 件	746 件	705 件	736 件	726 件
ある程度理解できた	189 件	151 件	183 件	225 件	199 件	197 件
理解できなかった	6 件	13 件	20 件	17 件	13 件	15 件
有効回答	948 件	950 件	949 件	947 件	948 件	938 件
無回答	10 件	8 件	9 件	11 件	10 件	20 件
合計	958 件	958 件	958 件	958 件	958 件	958 件

表 2-13 空港施設計画における理解度とその比率

	空港の概要	滑走路延長の必要性	滑走路延長の効果	周辺への影響	延長計画(案)の内容	全体的な内容
理解できた	79.5%	82.7%	78.6%	74.4%	77.6%	77.4%
ある程度理解できた	19.9%	15.9%	19.3%	23.8%	21.0%	21.0%
理解できなかった	0.6%	1.4%	2.1%	1.8%	1.4%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

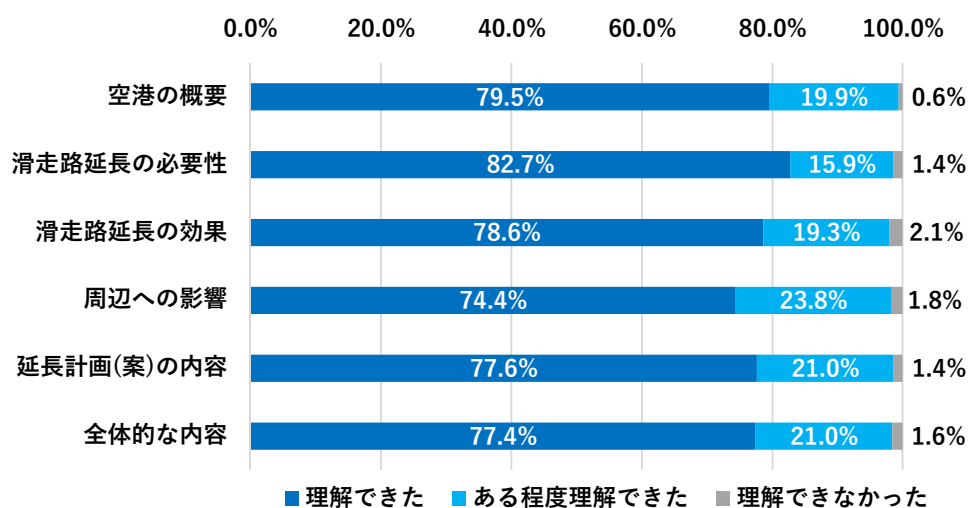


図 2-12 空港施設計画における理解度と比率

2.4. 寄せられた自由意見

2.4.1. 自由意見の分類方法

自由意見で寄せられた意見の中には、複数の内容を含むものがあります。そのため、はじめに複数の内容を含む意見を内容別に分割しました。その上で、それぞれの意見をP Iレポートで情報提供した6つの内容を基に作成した項目にその他を加えた7つに分類整理しました。

< P Iレポートの内容を基にした大分類（7分類） >

- I. P Iの進め方
- II. 北九州空港の概要
- III. 滑走路延長の必要性
- IV. 滑走路延長の効果
- V. 滑走路延長の周辺への影響
- VI. 北九州空港滑走路延長計画（案）
- VII. その他

さらに、上記の7つの分類に整理した意見について、それぞれ主な意見を抽出して中区分を作成し、分類整理しました。分類方法については、次頁に示します。

(1) 複数の内容を含む意見を、内容ごとに分解

〇〇さんの意見：

福岡県のみならず、西日本や日本全体で見ても効果的、魅力的な計画だと感じた。 現状の物流体制
でいることは、非常に勿体無いことだと思う。 滑走路延長計画案で、工事になぜ4年もかかるのか
の理由についてののみ、理解できなかった。

A：福岡県のみならず、西日本や日本全体で見ても効果的、魅力的な計画だと感じた。

B：現状の物流体制でいることは、非常に勿体無いことだと思う。

C：滑走路延長計画案で、工事になぜ4年もかかるのかの理由についてののみ、理解できなかった。

(2) それぞれの意見を、7つの項目へと内容別に分類

A：福岡県のみならず、西日本や日本
全体で見ても効果的、魅力的な計画
だと感じた。

B：現状の物流体制でいることは、
非常に勿体無いことだと思う。

C：滑走路延長計画案で、工事になぜ
4年もかかるのかの理由について
のみ、理解できなかった。

細分化した意見について、内容別に7つの
大分類へと振り分ける。

- I. P I の進め方
- II. 北九州空港の概要
- III. 滑走路延長の必要性
- IV. 滑走路延長の効果
- V. 滑走路延長の周辺への影響
- VI. 北九州空港滑走路延長計画（案）
- VII. その他意見

(3) 7つに分類した意見から主な意見を抽出し、中区分を作成、再度分類・整理

2.4.2. 寄せられた自由意見の内容

回答数 958 件のうち自由意見の記載が 602 件ありました。このうち、複数の内容（意見）を
含むものについて個々の内容ごとに分割したところ、延べ 1,127 件の意見になりました。

これら意見を、P I レポートの内容をもとに整理した 6 つのグループとその他意見に分類し、
さらに内容別に分類した結果、合計で 30 の意見に分類整理されました。

表 2-14 自由意見の分類結果

意見の分類方法		件数
I.	PIの進め方に関する意見	9
(1)	提供する情報の周知方法に関する意見	5
(2)	PIの実施方法に関する意見	4
II.	北九州空港の概要に関する意見	31
(1)	北九州空港の特徴や重要性を理解したという意見	26
(2)	24時間空港である特徴をもっと活かすべきだという意見	5
III.	滑走路延長の必要性に関する意見	143
(1)	滑走路延長は必要であるという意見	122
(2)	滑走路延長は必要ないという意見	18
(3)	滑走路延長に係る経済損失に係る意見	2
(4)	運航可能な機材・航続距離等に関する意見	1
IV.	滑走路延長の効果に関する意見	408
(1)	貨物定期便やチャーター便の就航を期待するという意見	75
(2)	シー&エアに関する意見	11
(3)	旅客便の就航拡大に関する意見	99
(4)	地域経済への波及効果・九州、西中国地域に立地する産業活性化に関する意見	158
(5)	陸上輸送の効率改善効果に関する意見	7
(6)	大規模災害発生への対応とBCP機能の強化に関する意見	10
(7)	滑走路延長によるデメリットに関する意見	5
(8)	その他、滑走路延長の効果に関する意見	43
V.	滑走路延長の周辺への影響に関する意見	51
(1)	自然環境への影響に関する意見	29
(2)	空港周辺の航空機騒音の変化に関する意見	17
(3)	周辺空域への影響に関する意見	5
VI.	北九州空港滑走路延長計画(案)に関する意見	185
(1)	滑走路延長計画に関する意見	53
(2)	滑走路延長計画の費用対効果に関する意見	37
(3)	整備工程に関する意見	95
VII.	その他意見	300
(1)	空港施設の整備に関する意見	29
(2)	空港へのアクセス関連の整備に関する意見	90
(3)	空港島及び空港周辺地域の整備に関する意見	39
(4)	福岡空港等、他空港との関わりに関する意見	54
(5)	レポートのレイアウトや理解度に関する意見	18
(6)	空港の発展を期待・応援する意見	27
(7)	現状の空港に対する不満等の意見	7
(8)	その他意見	36
合計		1,127

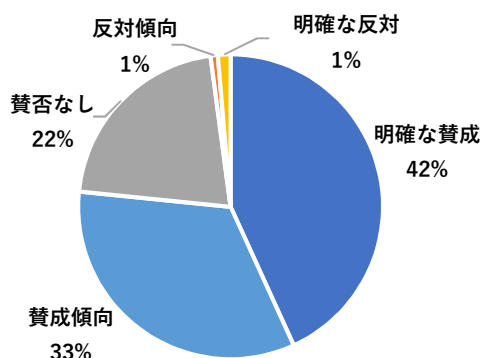
2.4.3. 寄せられた自由意見に対する対応

自由意見は、感想や賛否のコメント、北九州空港の運営全般に関する要望など幅広い意見が寄せられました。その意見を分類整理した中から、滑走路延長計画案の内容に対する意見を抽出し、その意見に対する北九州空港施設計画検討協議会の考え方を整理し、延長計画案への反映の検討（判断）を行いました。その結果、現 500m 延長計画案（3,000m 化）のまま進めることとしました。

その他の意見や質問に対する北九州空港施設計画検討協議会としての考え方についても次頁以降に整理（第 3 回北九州空港施設計画検討協議会において公表予定のため様式のみ掲載）しました。なお、要望や所感については、今後の北九州空港の更なる発展に向けた検討や適切な管理・運営に活かしてまいります。

表 2-15 計画案に反映すべき意見の検討

寄せられた意見	意見に対する考え方・対応
・九州には 3,000m 滑走路を有する空港が他にもあり、わざわざ北九州空港を延長しなくてもよいのではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州空港は、地方空港では珍しい国際貨物定期便が就航する空港です。また、国際チャーター便の就航実績も豊富で国内でも有数の国際貨物取扱量を誇っています。 ・そのため、北九州空港は周辺に航空貨物関連の物流事業者が立地するなど航空貨物の輸送体制が充実しており、大量の貨物を集荷・輸送しやすい環境が整っております。また 24 時間運用が可能であり利用者のニーズに合わせて運航が可能です。 ・他の空港では貨物の受け入れ態勢が整っていないため、安定的な航空貨物輸送が困難であり貨物拠点空港としての運用は困難です。九州・西中国地域の活性化に必要な貨物拠点空港を確保するため、北九州空港において大型貨物機の商用運航が可能な滑走路長 3,000m 化に向けた事業着手を目指すものと判断しました。
・3,000m 化に賛成、早期に整備すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・PI 活動を通じ、多くのみなさまに計画内容についてご理解頂いたと判断しました。
・延長後の滑走路長は 3,000m ではなく、3,500m や 4,000m にすべきではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000m を超える延長の滑走路を整備する場合、その延長を確保するためには現在の空港島敷地内での整備が困難となり、海上に新たな施設整備が必要不可欠となります。その場合、環境アセスメントの手続きや漁業関係者との調整に多くの時間を要するため、早期の供用開始が困難となるとともに整備費用も大幅に増加することとなります。 ・その一方で、PI 活動を通じて多くのみなさまから早期の滑走路延長整備の要望を受けております。その要望に応えるためにも、比較的事業期間を短く抑えられ、北米・欧州便の就航に対応可能な 3,000m 化に向けた事業着手を目指すものと判断しました。



※四捨五入の関係で合計は 100% になっていません。

分類	内容	意見数
明確な賛成	意見中に「賛成・応援」等が明言	254
賛成傾向	賛成等が明言はされていないが、内容から賛成と解釈できる	201
賛否なし	延長に対する賛否の記載がない・賛否どちらとも解釈できない	134
反対傾向	反対等が明言はされていないが、内容から反対と解釈できる	5
明確な反対	意見中に「反対」等が明言	8
自由意見なし		356
総数		958

図 2-14 (参考) 滑走路延長に対する意見の傾向と解釈の方法

表 2-16 寄せられた意見に対する北九州空港施設計画検討協議会の考え方

	寄せられた意見	意見に対する考え方
9 件	I P I の進め方に関する意見	
	(1) 提供する情報の周知方法に関する意見 (5 件)	
	(2) P I の実施方法に関する意見 (4 件)	
31 件	II 北九州空港の概要に関する意見	
	(1) 北九州空港の特徴や重要性を理解したという意見 (26 件)	
	(2) 24 時間空港である特徴をもっと活かすべきだという意見 (5 件)	
143 件	III 滑走路延長の必要性に関する意見	
	(1) 滑走路の延長は必要であるという意見 (122 件)	
	(2) 滑走路延長に否定的な意見 (18 件)	
	(3) 北九州空港が利用できないことによる経済損失に関する意見 (2 件)	
	(4) 大型航空機の就航と滑走路の長さの関係性に関する意見 (1 件)	
408 件	IV 滑走路延長の効果に関する意見	
	(1) 貨物定期便やチャーター便の就航を期待する意見 (75 件)	
	(2) シー & エアに関する意見 (11 件)	
	(3) 旅客便の就航拡大に関する意見 (99 件)	

	寄せられた意見	意見に対する考え方
	(4) 地域経済への波及効果・九州、西中国地域に立地する産業活性化に関する意見（158件）	
	(5) 陸上輸送の効率改善効果を期待する意見（7件）	
	(6) 大規模災害発生への対応とBCP機能の強化に関する意見（10件）	
	(7) 滑走路延長によるデメリットに関する意見（5件）	
	(8) その他、滑走路延長の効果に期待する意見(43件)	
51件	V 環境への影響に関する意見	
	(1) 自然環境への影響に関する意見（29件）	
	(2) 空港周辺の航空機騒音の変化に関する意見（17件）	
	(3) 周辺空域への影響に関する意見（5件）	
185件	VI 北九州空港滑走路延長計画（案）に関する意見	
	(1) 滑走路延長計画に関する意見（53件）	
	(2) 滑走路延長計画の費用対効果に関する意見（37件）	
	(3) 整備工程に関する意見（95件）	
300件	その他意見	
	(1) 空港施設の整備に関する意見（29件）	

	寄せられた意見	意見に対する考え方
	(2) 空港へのアクセス関連の整備に関する意見 (90 件)	
	(3) 空港島及び空港周辺地域の整備に関する意見 (39 件)	
	(4) 福岡空港等、他空港との関わりに関する意見 (54 件)	
	(5) P I レポートのデザイン・レイアウトに関する意見 (9 件)	
	(6) 空港の発展を期待・応援する意見 (27 件)	
	(7) 現状の空港に対する不満等の意見 (7 件)	
	(8) その他意見 (36 件)	

3. P I の目標達成の判断

3.1. 判断の方法

P I の目標達成の判断は、北九州空港施設計画段階 P I 評価委員会による助言・評価のもと「北九州空港滑走路延長計画に関する P I 実施計画書」に 2 つの判断基準を設定しました。

【目標達成の判断基準】

- ① P I 対象者に情報を周知できたか。また P I 対象者からの意見の把握・集約に努めたか。
- ② P I 対象者が計画の内容を理解できているか（合意形成）。

そのため、以下に示す視点から P I の目標達成の判断を行いました。

< P I の目標達成の判断の視点 >

視点①：P I 対象者へ情報を周知できたか。

P I 実施計画書に基づき、計画通りに情報提供が実施できたかどうかを判断。

視点②：P I 対象者の意見の把握・集約に努めたか。

P I 対象者からの自由意見を内容別に分類整理し、意見に対する北九州空港施設計画検討協議会の考え方等が整理されているかどうかを判断。

視点③：P I 対象者は計画の内容を理解できているか。

提供した情報に対する P I 対象者からの理解を問う質問回答の結果から、理解いただけたかどうかを判断。

3.2. 判断内容（案）

視点①：P I 対象者へ情報を周知できたか。

P I 実施計画書に基づき、計画通りに情報提供が実施できたかどうかを判断。

判断内容

- P I 活動の周知・広報活動は、実施期間及び手法・媒体ともに当初計画通り、全て実行することができました。また、当初計画に加えて、福岡県内の他（北九州市・苅田町以外）の市町村、九州の各県と山口県、商工会議所や商工会、その他の企業や団体等に対して P I チラシの配布を行い、P I 対象者への周知に努めました。
- P I 対象者への情報提供と意見収集についても、わかりやすい情報の提供に努め、実施期間及び手法・媒体ともに当初計画通り、全て実行することができました。また、当初計画に加えて、より広範囲に冊子の配架を行い、P I 対象者への積極的な参加を促し、意見の収集を努めました。
- ご意見を頂いた P I 対象者の属性から、幅広い地域、職業、年齢に情報を周知できたと判断できます。
- 以上より、P I 対象者への情報は周知できたと判断しました。

表 3-1 周知・広報活動の実施状況（計画・実績）

活動の内容	P I 実施計画書	実績
ホームページ	インターネットに北九州空港の滑走路延長計画に関するホームページを開設します	計画通り実施しました
SNS	福岡県、北九州市、苅田町の SNS(Facebook、Twitter、LINE) 等でお知らせします	計画通り実施しました
行政機関の広報誌	福岡県、北九州市、苅田町が発行する広報紙でお知らせします	県「福岡県だより」、北九州市「市政だより」、苅田町「広報誌 かんだ」により計画通り実施しました
PR ポスター	福岡県、北九州市、苅田町の公共施設、北九州空港等で掲示します	福岡県、北九州市、苅田町の公共施設、北九州空港等で掲示しました 福岡県：市町村や経済団体等に追加配布しました 北九州市：北九州モノレール駅に追加配布しました 苅田町：総合体育館(ワクチン接種会場)に追加配布しました
PR チラシ	チラシを作成し、福岡県、北九州市、苅田町の公共施設、北九州空港等に配布箇所を設置します	福岡県、北九州市、苅田町の公共施設や、県内のコンビニ、北九州空港等に配布箇所を設置しました 福岡県：市町村や経済団体等に追加配布しました
マスメディア	新聞やテレビ等の情報機関に情報提供し、報道による周知を促します	テレビ：FBS 福岡放送の「優&舞の知っつく! ふうおか」、新聞：読売新聞(特別広報：7/15)、ラジオ：FM 福岡「モーニングジャム」にて、P I の周知・広報をしました

表 3-2 情報提供と意見収集の実施状況（計画・実績）

	活動の内容	PI実施計画書	実績
情報 の 提 供	ホームページ	インターネットに北九州空港の滑走路延長計画に関するホームページを開設します	福岡県、北九州市、苅田町、北九州空港、九州地方整備局のホームページに、北九州空港の滑走路延長計画に関するホームページを開設しました
	冊子 (PIレポート)	冊子(PIレポート)を作成し、福岡県、北九州市、苅田町の公共施設、北九州空港等に配布箇所を設置します	福岡県、北九州市、苅田町の公共施設や、県内のコンビニ等に配架しました 福岡県：九州各県と山口県、関係する団体や企業に追加配布しました 北九州市：北九州空港振興協議会や商工会議所等関連する団体に追加配布しました 苅田町：ワクチン接種会場にて追加配架しました
	パネル展	福岡県、北九州市、苅田町の公共施設、北九州空港等で掲示します	計画通り実施しました
	説明会	北九州市内、苅田町内において説明会を開催します	北九州市内、苅田町内において計画通り実施しました
	ご意見の収集	ホームページからご意見をいただける記入フォームを設けます	計画通り実施しました
ご意見の収集	ハガキ (冊子に折込み)	ご意見を記入するハガキを作成し、情報の提供場所や説明会で配布します	ご意見を記入するハガキを作成し、冊子に折込み、情報の提供場所や説明会で計画通り実施しました
ご意見の収集	電子メール	冊子、ポスター等に、ご意見用の電子メールアドレスを掲載します	計画通り実施しました
ご意見の収集	説明会	直接ご意見いただきます	北九州市と苅田町の説明会にて計画通り実施しました
ご意見の収集	意見募集用紙	追加実施	パネル展示会場に設置しました ご意見募集用紙を関係する団体や企業に送付し意見を返信していただきました

※表 3-1、表 3-2 について、PI 実施計画書での計画に追加で実施した内容は黄色で示しています。

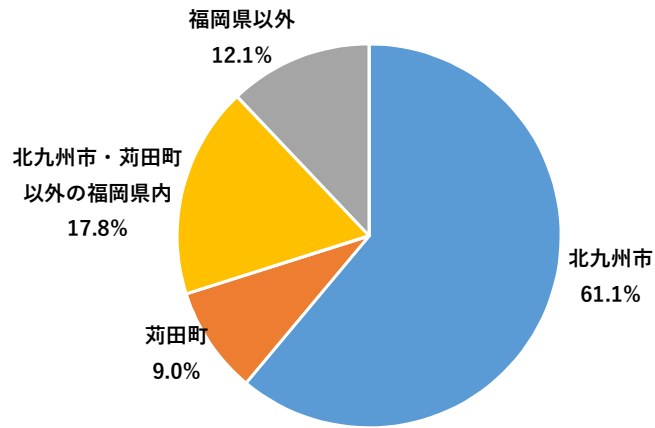


図 3-1 意見を頂いたP I対象者の居住地（再掲）

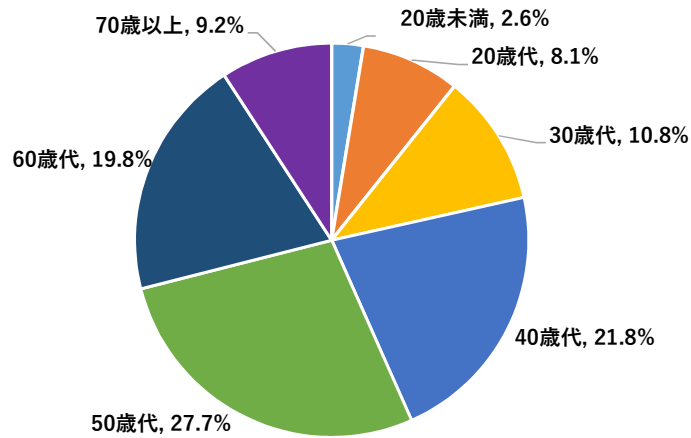


図 3-2 意見を頂いたP I対象者の年齢（再掲）

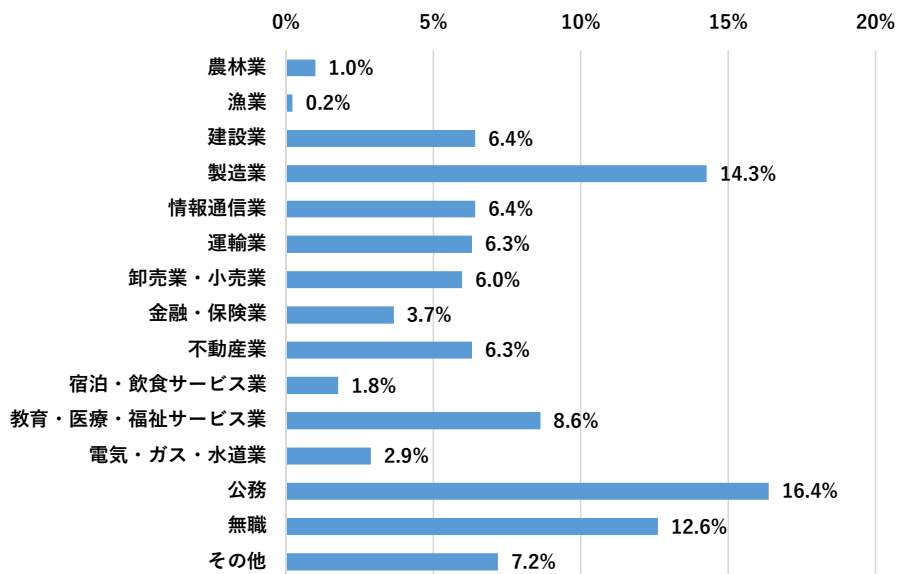


図 3-3 意見を頂いたP I対象者の職業（再掲）

視点②：P I対象者の意見の把握・集約に努めたか。

P I対象者からの自由意見を内容別に分類整理し、意見に対する北九州空港施設計画検討協議会の考え方等が整理されているかどうかを判断。

判断内容

- P I対象者から頂いた意見に関して合計 958 通の回答を頂きました。また、頂いた自由意見をP Iレポートで情報提供した 6 つの内容別・その他に整理し、さらに内容を分類・集約した結果、自由意見は合計 1,127 件になりました。
- 集約した意見から、滑走路延長計画案の内容に対する意見を抽出し、計画案に反映すべきかどうかの判断について、北九州空港施設検討協議会の考え方を示しました。
- 以上より、P I対象者の意見を把握し、協議会としての考え方が示されるなど、P I対象者の疑問などにも応えていると判断しました。

表 3-3 内容別に分類した自由意見の件数と割合

意見の分類方法		件数
I.	PIの進め方に関する意見	9
(1)	提供する情報の周知方法に関する意見	5
(2)	PIの実施方法に関する意見	4
II.	北九州空港の概要に関する意見	31
(1)	北九州空港の特徴や重要性を理解したという意見	26
(2)	24時間空港である特徴をもっと活かすべきだという意見	5
III.	滑走路延長の必要性に関する意見	143
(1)	滑走路延長は必要であるという意見	122
(2)	滑走路延長は必要ないという意見	18
(3)	滑走路延長に係る経済損失に係る意見	2
(4)	運航可能な機材・航続距離等に関する意見	1
IV.	滑走路延長の効果に関する意見	408
(1)	貨物定期便やチャーター便の就航を期待するという意見	75
(2)	シー&エアに関する意見	11
(3)	旅客便の就航拡大に関する意見	99
(4)	地域経済への波及効果・九州、西中国地域に立地する産業活性化に関する意見	158
(5)	陸上輸送の効率改善効果に関する意見	7
(6)	大規模災害発生への対応とBCP機能の強化に関する意見	10
(7)	滑走路延長によるデメリットに関する意見	5
(8)	その他、滑走路延長の効果に関する意見	43
V.	滑走路延長の周辺への影響に関する意見	51
(1)	自然環境への影響に関する意見	29
(2)	空港周辺の航空機騒音の変化に関する意見	17
(3)	周辺空域への影響に関する意見	5
VI.	北九州空港滑走路延長計画(案)に関する意見	185
(1)	滑走路延長計画に関する意見	53
(2)	滑走路延長計画の費用対効果に関する意見	37
(3)	整備工程に関する意見	95
VII.	その他意見	300
合計		1,127

視点③：P I 対象者は計画の内容を理解できているか。

提供した情報に対するP I 対象者からの理解度を問う質問回答の結果から、理解いただけたかどうかを判断。

判断内容

- P I 対象者へP I レポートで情報提供した北九州空港の概要、滑走路延長の必要性、滑走路延長の効果、滑走路延長の影響、滑走路延長計画案の各内容については、いずれも「理解できた」、「ある程度理解できた」が97.9%~99.4%を占め、「理解できなかった」は0.6%~2.1%でした。
- また、北九州空港滑走路延長計画の全体的な内容についても、「理解できた」、「ある程度理解できた」が98.4%を占め、「理解できなかった」は1.6%でした。
- 以上より、P I 対象者に北九州空港滑走路延長計画の必要性、効果、妥当性などについて理解していただけたと判断しました。

表 3-4 P I レポートで提供した内容の理解度

	小計 (理解できた+ある程度理解できた)	理解できなかった	合計
空港の概要	99.4% (79.5%+19.9%)	0.6%	100.0%
滑走路延長の必要性	98.6% (82.7%+15.9%)	1.4%	100.0%
滑走路延長の効果	97.9% (78.6%+19.3%)	2.1%	100.0%
周辺への影響	98.2% (74.4%+23.8%)	1.8%	100.0%
延長計画(案)の内容	98.6% (77.6%+21.0%)	1.4%	100.0%
全体的な内容	98.4% (77.4%+21.0%)	1.6%	100.0%

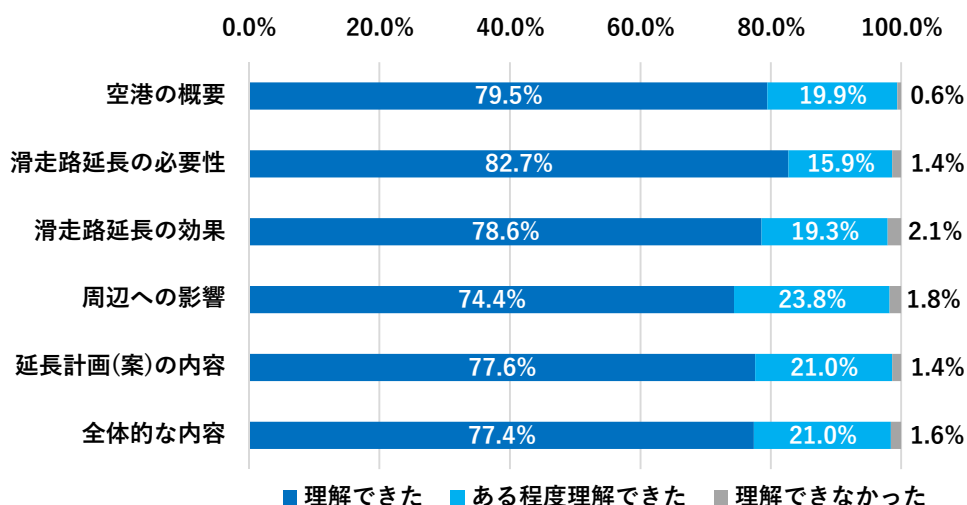


図 3-4 P I レポートで提供した内容の理解度 (再掲)

3.3. P I の目標達成の判断結果

P I 活動の結果を以下に示す北九州空港 P I の目標達成の判断基準に照らし、いずれの基準も満たしていることから、P I は目標を達成していると判断しました。

【目標達成の判断基準】

- ① P I 対象者に情報を周知できたか。また P I 対象者からの意見の把握・集約に努めたか。
- ② P I 対象者が計画の内容を理解できているか（合意形成）。